



銘柄コード 7564

2014年3月期 決算説明会



株式会社 ワークマン

2014年5月7日 開催

- ・2014年3月期決算の概要 P3~P10
- ・今後の戦略について P11~P14
- ・2015年3月期決算の見通し P15~P22
- ・2014年3月期決算の詳細 P23~P28

● 2014年3月期決算の概要

今後の戦略について

2015年3月期決算の見通し

2014年3月期決算の詳細

決算概要



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期			
	金額	前期比	実績	前期比	予想	予想比
チェーン全店売上高	63,858	+4.8	68,801	+7.7	67,698	+1.6
(既存店売上高)	—	+2.4	—	+5.3	(+3.8)	(+1.5)
営業総収入	45,057	+2.5	48,137	+6.8	47,691	+0.9
販売費及び一般管理費	7,811	△0.4	8,136	+4.2	8,243	△1.3
営業利益	7,394	+7.4	8,378	+13.3	8,001	+4.7
経常利益	8,433	+7.2	9,503	+12.7	9,061	+4.9
特別損失	55	△26.5	40	△26.4	81	△49.6
当期純利益	5,044	+14.6	5,586	+10.7	5,390	+3.6
1株当たり当期純利益	247円26銭		273円81銭		264円20銭	
1株当たり配当金	75円00銭		83円00銭		75円00銭	

※2014年3月期の予想数値は、2013年4月30日に公表しました数値です。

決算のポイント



出店状況

- 開店 20店舗、2014年3月末 730店舗(前期末比 +20店舗)
- 鳥取県、島根県、佐賀県へエリア拡大
- スクラップ&ビルド 2店舗(既存店の活性化)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア 2014年3月末 618店舗(前期末比 +27店舗)
- フランチャイズ比率 84.7%(前期末比 1.5ポイント増)

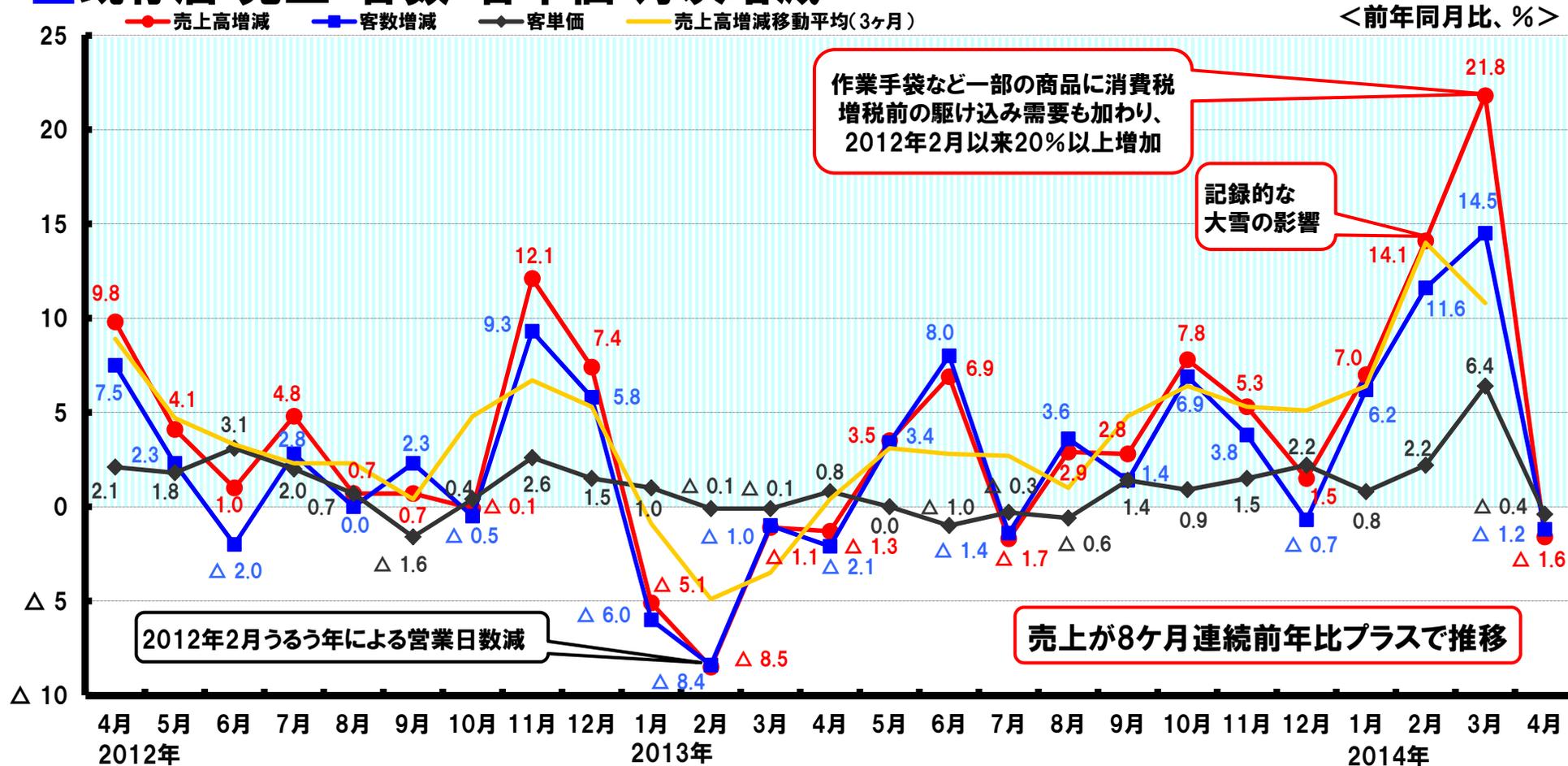
販売強化

- プライベート・ブランド(PB)商品 232アイテムで低価格政策を推進
 - ・ PB商品の売上高 72億 53百万円(前期比 +72.4%)
 - ・ チェーン全店売上高に占める構成比 10.6%(前期比 4ポイント増)
- お客様が選びやすく、買いやすい売場づくりを展開
 - ・ 重ね着スタイルなどコーディネート提案を強化
- 竜王流通センターの稼働で物流の効率化を推進

月次推移と要因



■ 既存店 売上・客数・客単価 月次増減



13/3期
1Q既存店売上
+4.7%

2Q既存店売上
+2.2%

3Q既存店売上
+6.6%

4Q既存店売上
△5.1%

14/3期
1Q既存店売上
+3.1%

2Q既存店売上
+0.8%

3Q既存店売上
+4.3%

4Q既存店売上
+13.6%

販売状況



チェーン全店売上高 688億円 客数2,935万人

<前期比、%>

	チェーン全店	既存店
売上高	+7.7%	+5.3%
客数	+6.6%	+4.1%
1日当たり平均客数	—	118人
客単価	2,343円	2,350円
	+1.0%	+1.1%
1品単価	847円	848円
	+1.0%	+1.0%
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

既存店1店舗の平均年商と1日平均来店客数の推移



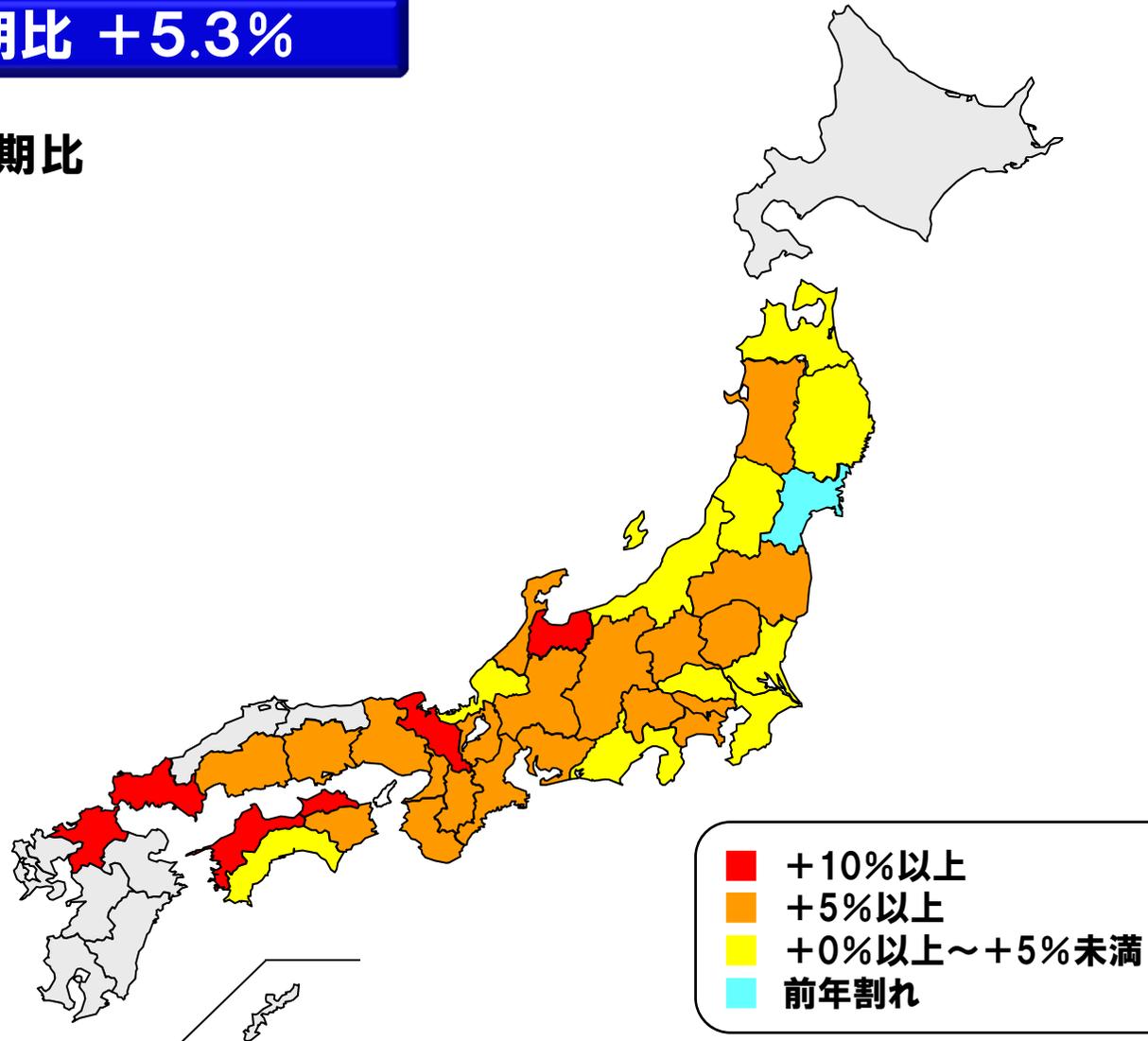
※2013年3月期以前の平均年商及び平均来店客数は各期毎に発表した数値を使用しており、対象店舗は2014年3月期の既存店舗とは異なります。

県別既存店前年同期比

既存店売上高前年同期比 +5.3%

■エリア別既存店前年同期比

東北	+3.0%
北関東	+3.7%
南関東	+5.0%
甲信越	+4.4%
北陸	+5.8%
東海	+4.9%
近畿	+8.4%
中国	+9.4%
四国	+8.9%
九州	+30.2%



商品別売上高と要因



■チェーン全店商品別売上高

<単位:百万円、%>

商品別	2013年3月期		2014年3月期		要因
	売上高	前期比	売上高	前期比	
ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・エプロン等	6,319	+5.2	6,644	+5.2	春夏:靴下、ショートソックス、タオルの販売伸長。 秋冬:発熱、厚地など防寒肌着の販売が伸長。
カジュアルウェア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネックシャツ・ブルゾン等	6,478	+5.7	6,773	+4.5	通年:長袖Tシャツ、長袖ポロシャツが好調。 秋冬:低価格や機能性の高い防寒インナーの販売が好調。
ワーキングウェア 作業ジャンパー・作業ズボン・つなぎ服・着衣料等	18,498	+6.4	19,550	+5.7	通年:ピケストレッチパンツの販売好調。 春夏:消臭抗菌速乾など機能性作業服堅調。 秋冬:裏アルミ防寒ジャンパー、パンツ堅調。
履物 安全靴・安全スニーカー・地下足袋・長靴・厨房シューズ等	13,237	+4.3	14,355	+8.4	大型台風や2月の大雪により長靴、合羽等の雨関連商品の販売が急伸。 消費税増税前に作業手袋を中心に駆け込み需要が発生
作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ヘルメット・マスク等	17,425	+3.5	19,481	+11.8	軍手、すべり止めゴム手袋、防寒手袋、ヤッケの販売が好調。
その他 食品白衣・医療白衣・オフィスユニフォーム・不織布作業服等	1,899	+0.5	1,995	+5.1	不織布用品の販売が堅調。
合計	63,858	+4.8	68,801	+7.7	

商品別売上構成



■チェーン全店商品別売上構成比前期比較

		<%>						
		2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	前期増減 (2013~ 2014)
衣 料	■ファミリー衣料	9.7	9.7	10.0	9.9	9.9	9.7	△0.2
	■カジュアルウェア	9.6	9.2	9.7	10.1	10.1	9.8	△0.3
	■ワーキングウェア	30.1	29.0	28.4	28.5	29.0	28.4	△0.6
用 品	■履物	20.1	21.0	20.8	20.8	20.7	20.9	+0.2
	■作業用品	26.9	27.2	27.5	27.6	27.3	28.3	+1.0
そ の 他	■白衣・ユニフォーム	3.6	3.9	3.6	3.1	3.0	2.9	△0.1
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

2014年3月期決算の概要

 **今後の戦略について**

2015年3月期決算の見通し

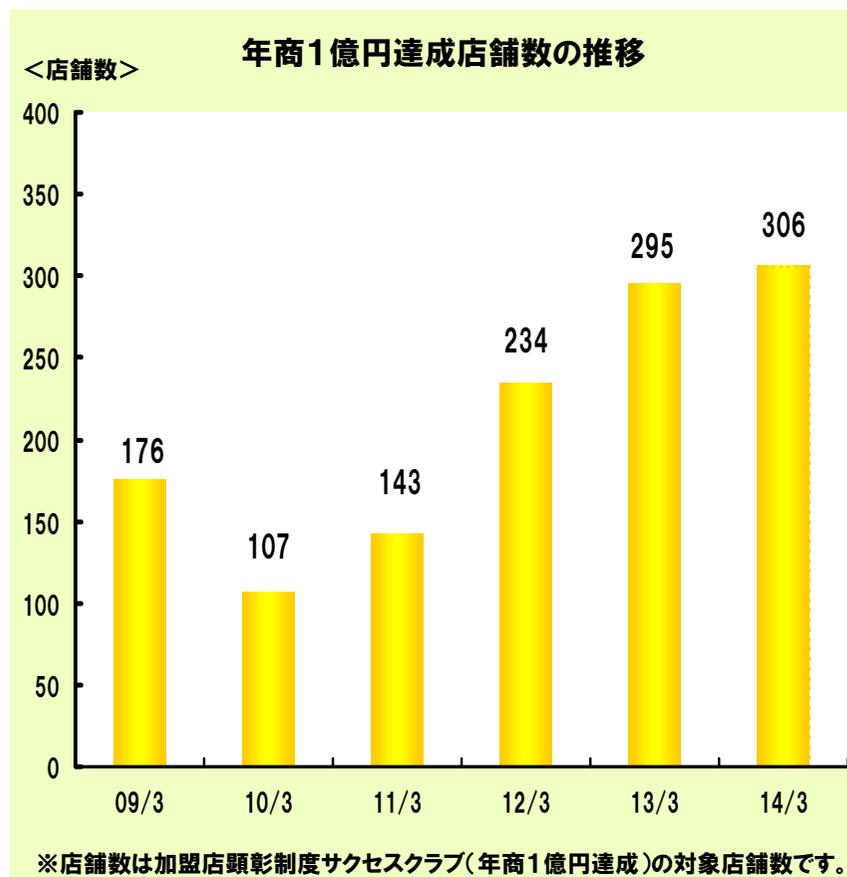
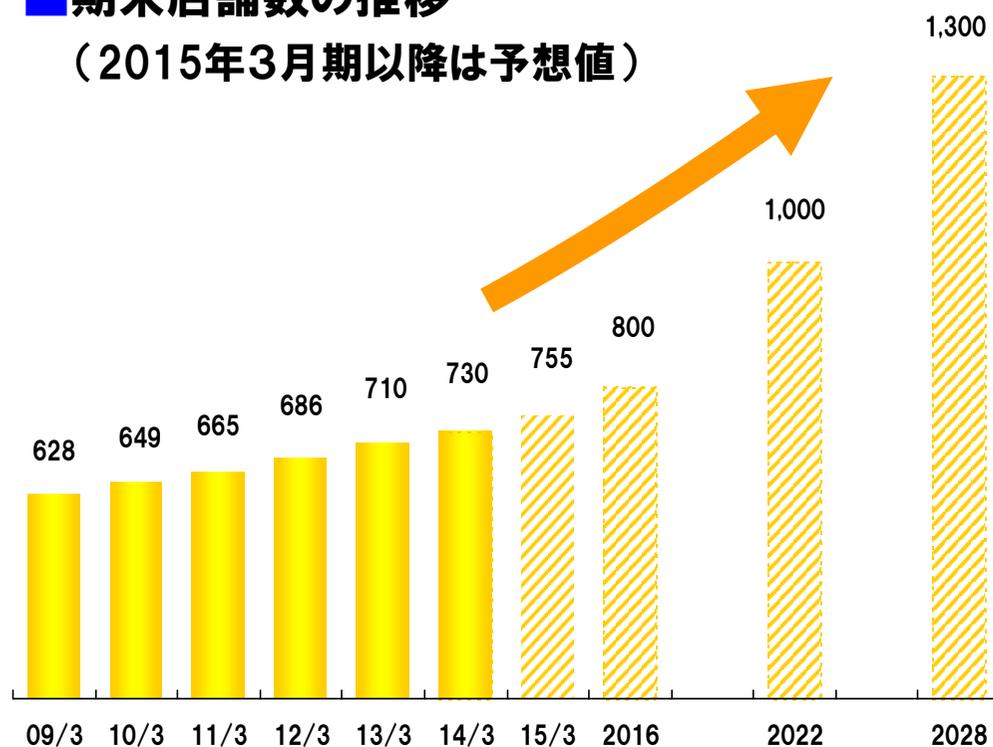
2014年3月期決算の詳細

ドミナント・エリア化の推進で個店売上の向上を図る

- 2022年に1,000店舗を展開し日本全国どこでも購入できる店舗展開を目指す
- 年商1億円店舗の拡大

■ 期末店舗数の推移

(2015年3月期以降は予想値)



プライベート・ブランド(PB)商品の拡大で他社との差別化を図る

■PB商品「WORKMAN BEST」の開発

- ・中期計画 PB比率 20%へ
- ・180° 開脚ズボンをシリーズ化



ピケストレッチパンツ 1,900円



180° 開脚シリーズ



180° 開脚綿混カーゴパンツ 2,500円

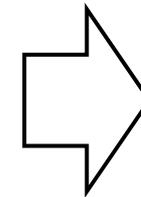


180° 開脚綿混カーゴツナギ服 3,900円

単品管理を実現し持続的成長を目指す

■単品管理プロジェクトの推進

- ・**加盟店** 発注業務軽減・検品作業軽減→接客改善
- ・**SV部** 売れ筋分析の高度化
- ・**商品部** 商品計画の精度向上



持続的成長

加盟店

- ・履歴発注システムの導入
→発注作業の短縮、チャンスロスの減少、フレンドリーサービスの向上

SV部

- ・単品管理で得た分析データの活用
- ・売れ筋商品の欠品を無くし、死に筋商品を売場から排除
→地域特性に応じた売場構成と品揃えを実行

商品部

- ・販売動向を正確に把握
- ・計画的な商品の製造と調達

2014年3月期決算の概要

今後の戦略について

 **2015年3月期決算の見通し**

2014年3月期決算の詳細

決算の見通し



<単位:百万円、%>

	2014年3月期		2015年3月期予想	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	68,801	+7.7	72,904	+6.0
(既存店売上高)	—	+5.3	—	+4.2
営業総収入	48,137	+6.8	51,646	+7.3
販売費及び一般管理費	8,136	+4.2	8,540	+5.0
営業利益	8,378	+13.3	9,032	+7.8
経常利益	9,503	+12.7	10,170	+7.0
特別損失	40	△26.4	45	+12.5
当期純利益	5,586	+10.7	6,199	+11.0
1株当たり当期純利益	273円81銭		303円85銭	
期末営業店舗数	730店舗		755店舗	

決算の見通しポイント



通期業績予想

■販売計画

- チェーン全店売上高 729億円(前期比 +6.0%)
- 既存店売上高前期比 +4.2%
 - 〃 客数前期比 +3.2%前後を想定
 - 〃 客単価前期比 +1.0%前後を想定
- 上期チェーン全店売上高前年同期比 8.1%増、既存店前年同期比 6.3%増
- 下期チェーン全店売上高前年同期比 4.2%増、既存店前年同期比 2.5%増

■利益計画

- 経常利益 101億円 前期比 +7.0%
- 当期純利益 61億円 前期比 +11.0%
- 5期連続の増収増益で過去最高益更新へ

出店計画

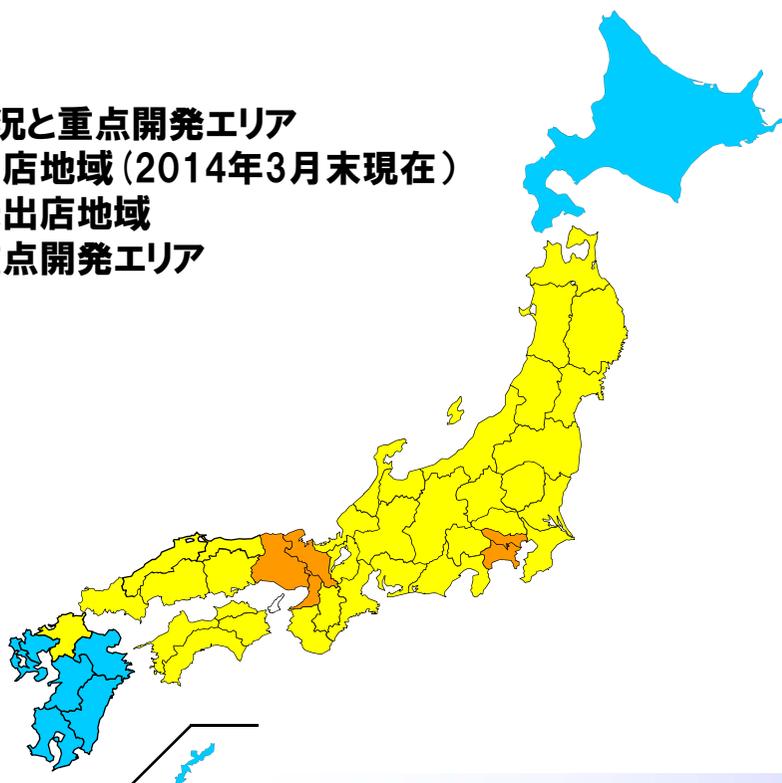


2015年3月期計画

- 開店 25店舗で、755店舗(前期末比 +25店舗)
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 4店舗
- 出店エリアの拡大→北海道へ初出店

出店状況と重点開発エリア

- 出店地域(2014年3月末現在)
- 未出店地域
- 重点開発エリア



地域別出店計画

<店舗数>

地域	上期計画	下期計画	通期計画
北海道	1	1	2
東北	0	1	1
関東	1	3	4
中部	0	1	1
近畿	3	3	6
中国	2	2	4
四国	2	1	3
九州	2	2	4
合計	11	14	25

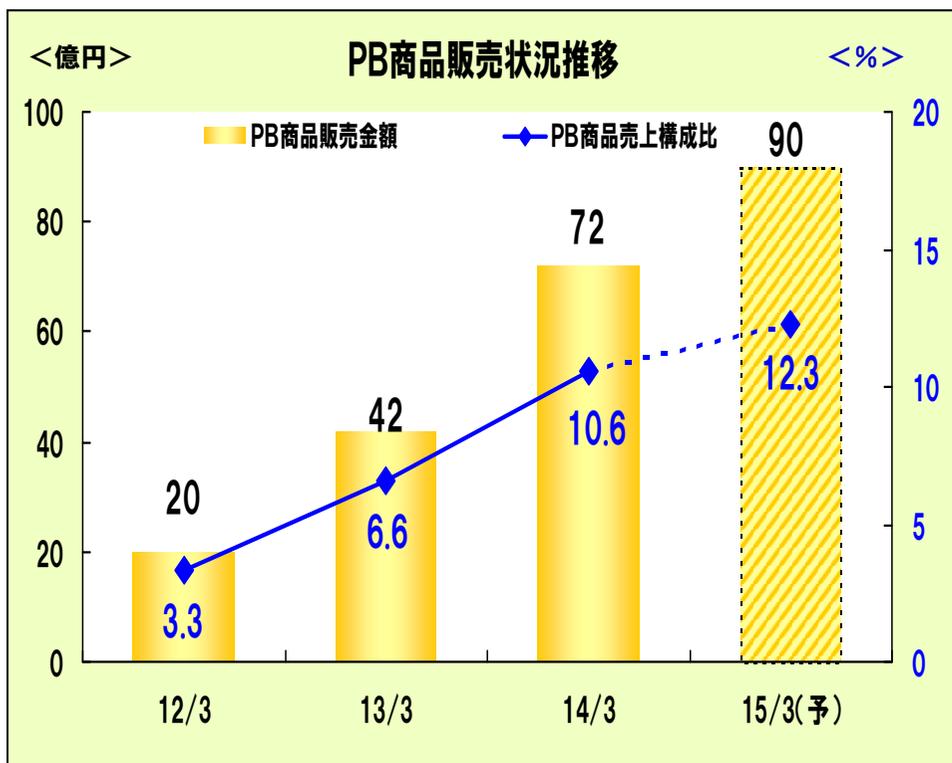
※スクラップ&ビルドは、上期3店舗、下期1店舗を計画しております。

商品政策



2015年3月期計画

- 競争力のあるPB商品の開発
- PB商品売上高 90億、構成比 12.3%計画
- 価格、品質、機能でさらに他社と差別化



WM COOL コーディネート

WM BEST COOL
WORKMAN BEST

WM COOLは、他社にない「涼」を極めた
価格・品質・機能が揃ったプライベートブランドです。

接触冷感、吸汗速乾、
抗菌防臭機能で、
猛暑対策に最適。

WM COOL
キャップタープ付き
キャップ 580円
499円

吸汗速乾糸「フィールクール」
を使用し、吸汗性に優れたTシャツ。
肌に触れる部分はひんやり
なめらかな着心地。

フィールクール
ポケット付き半袖Tシャツ 580円
ポケット付き長袖Tシャツ 780円

程よい締めつけで疲れにくい。
接触冷感、抗菌防臭、UVカット

WM COOL
クールスリーブ 680円

背中と両脇の5ヶ所に
メッシュを使用し、通気性も向上。

WM COOL
長袖シャツ 1,500円

肌に触れる部分に綿の強撚糸を
使用しているのでべたつかない。

涼快ショートメッシュソックス
(先丸・5本指) 580円

シャリ感と速乾性のある
生地を使用。

WM COOL
カーゴパンツ 1,500円

すべり止めには
発泡天然ゴムを使用し、
通気性に優れている。

WM COOL
ゴム背抜き手袋1双 250円

加盟店サポート



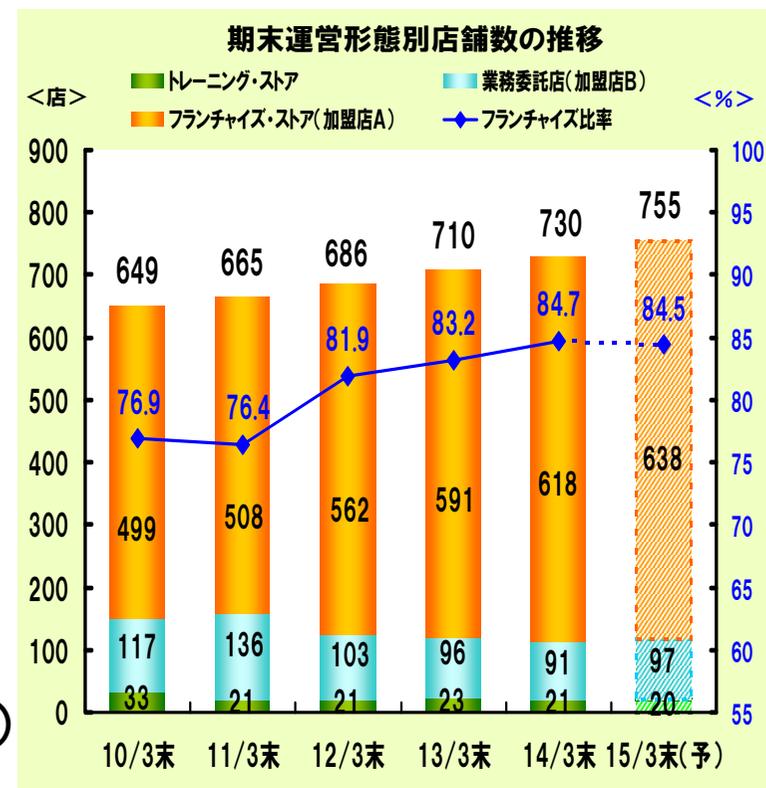
■加盟店サポート強化

- ・ 他社と差別化したPB商品の比率を高め売上増を図る
- ・ シーズンのコア(核)となるPB商品の売場提案を強化し客数増を図る
- ・ 販売分析データを活用して地域特性に合わせた売場づくりを推進
- ・ テレビCMを重点エリア、新規出店エリアに放映
→知名度の向上を図る。

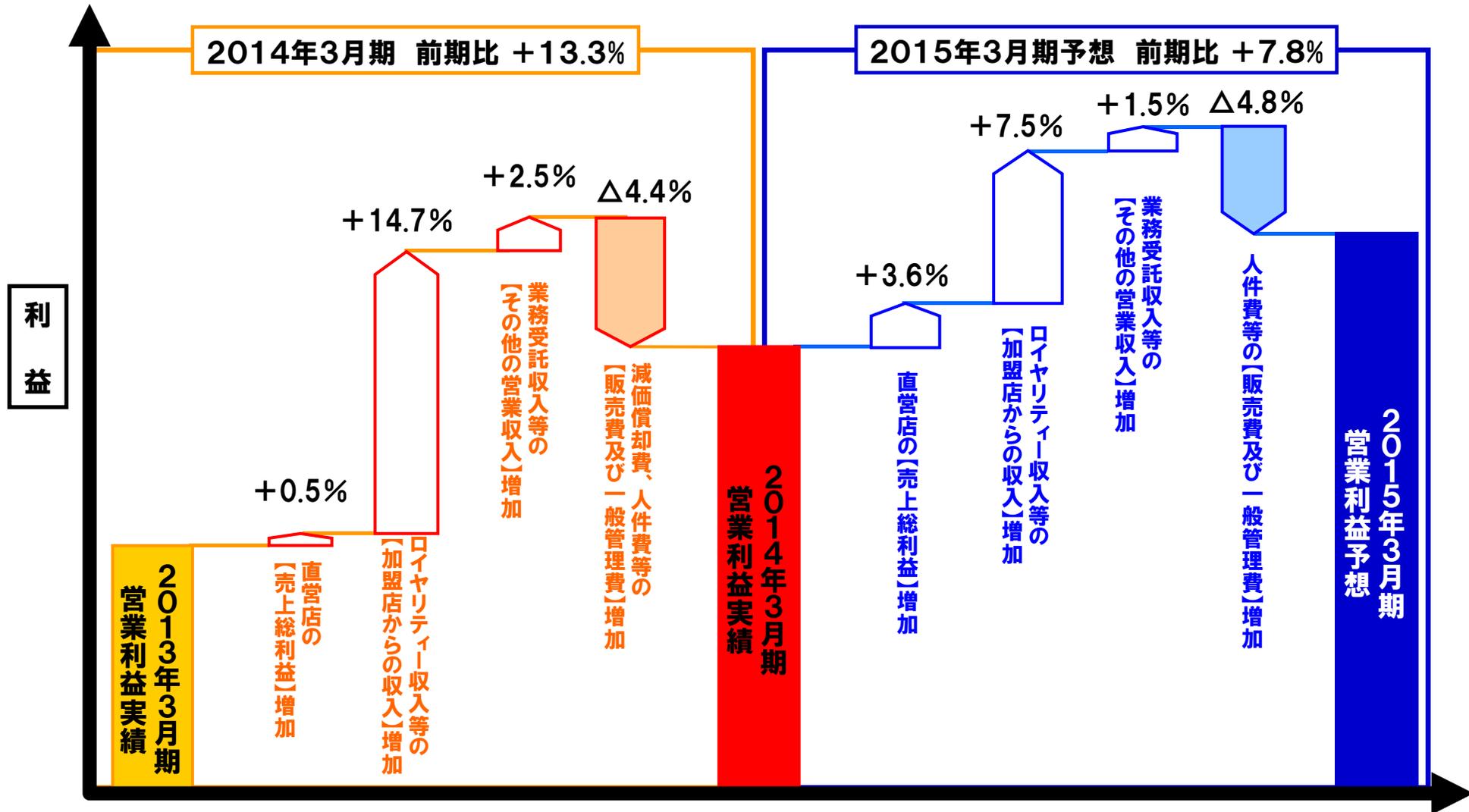
■個店売上の向上でフランチャイズ・ストア化を推進

- ・ 2015年3月末フランチャイズ・ストア 638店舗
- ・ 前期末比 +20店舗
- ・ 運営形態変更計画

業務委託店(加盟店B契約)→フランチャイズ・ストア
(加盟店A契約)へ 23店舗変更(前期実績 31店舗)



収益分析グラフ



※数値は営業利益の増減に影響を与える
主な要因を概数で表したものです。

要 因

配当金について



■ 基本方針

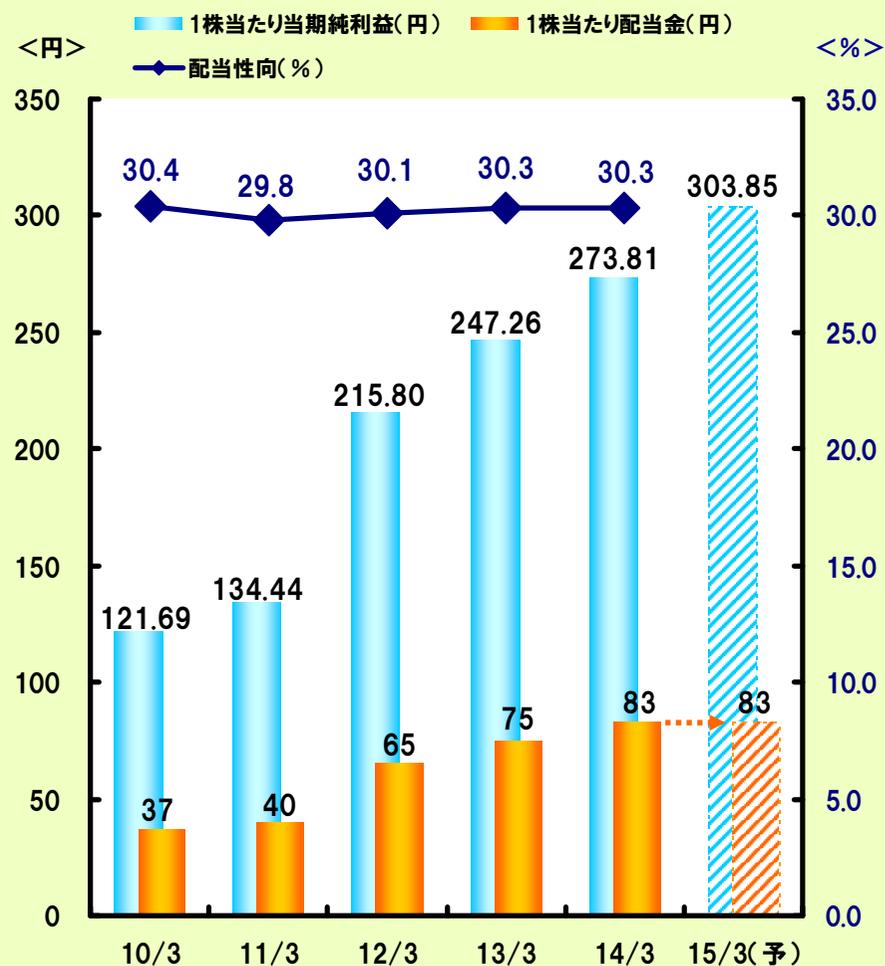
弊社は、株主の皆様に対して、適正な利益配分を継続して実施することを経営の重要課題と位置づけ、永続的な成長を実現するために必要な内部留保の充実を図りながら、業績に基づいた利益の配分を行うことを基本方針としております。

■ 配当性向 30%を目処

■ 1株当たり配当金

- ・ 2014年3月期
8円増配し 83円を予定しております。
- ・ 2015年3月期
前期同様の 83円を予想しております。

1株当たり当期純利益と配当金の推移



2014年3月期決算の概要

今後の戦略について

2015年3月期決算の見通し

 **2014年3月期決算の詳細**

貸借対照表1



<単位:百万円>

資産の部	2013年 3月期末	2014年 3月期末	増減	増減要因
流動資産	33,431	36,838	3,406	
現金及び預金	23,116	26,040	2,924	
加盟店貸勘定	5,307	4,965	△342	対象店舗は前年より減少(554店舗→549店舗) 貸付金額が1店舗当たり約53万6千円減少
商品	3,863	4,597	733	流通センター在庫が6億85百万円増加(竜王10億41百万円増加、伊勢崎3億55百万円減少)、未着商品2億3百万円増加、 店舗在庫は直営店7店舗減少により1億55百万円減少
固定資産	13,744	16,156	2,411	
有形固定資産	6,786	9,016	2,229	竜王流通センター取得価格
建物(純額)	2,102	3,698	1,596	建物15億96百万円
構築物(純額)	592	817	225	構築物2億88百万円
土地	2,966	2,966	—	車輻運搬具1百万円
リース資産	789	942	153	工具・器具・備品2億49百万円
その他(純額)	336	591	254	8店舗で2億46百万円計上
無形固定資産	307	369	61	竜王流通センターのソフトウェア、販売管理のソフトウェア等で1億54百万円取得
投資その他の資産	6,650	6,770	120	
長期前払費用	682	740	58	竜王流通センター、公共的施設負担金、整地費用で1億1百万円計上
繰延税金資産	546	610	63	
差入保証金	5,408	5,407	△1	建物リース契約での地主への建設協力金の差入
資産合計	47,176	52,994	5,818	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2013年 3月期末	2014年 3月期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	8,729	10,082	1,352	
買掛金・加盟店買掛金	3,634	4,093	459	チェーン全店仕入高 前期末より7億17百万円増加
未払金	1,329	1,452	123	オープンアカウント勘定(加盟店に支払う分配金)1億17百万円増加
未払法人税等	1,716	2,446	730	
未払消費税等	148	25	△123	
その他	1,901	2,064	162	
固定負債	2,655	3,059	404	
リース債務	864	1,047	183	8店舗で2億58百万円計上
資産除去債務	592	812	219	竜王流通センター取り壊し費用1億99百万円計上
負債合計	11,385	13,141	1,756	
株主資本	35,790	39,846	4,055	
純資産合計	35,791	39,852	4,061	自己資本比率75.2% 0.7ポイント低下
負債純資産合計	47,176	52,994	5,818	

キャッシュ・フロー計算書



<単位:百万円>

	2013年3月期	2014年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,743	7,278	2,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	487	△2,764	△3,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,375	△1,590	△214
現金及び現金同等物の増加額	3,855	2,924	△931
現金及び現金同等物の期首残高	19,260	23,116	3,855
現金及び現金同等物の期末残高	23,116	26,040	2,924

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・税引前当期純利益が 10億84百万円増加
- ・加盟店貸勘定が減少した事により 8億18百万円増加
- ・仕入債務の増加で 4億32百万円増加
- ・法人税等支払額の減少で 6億34百万円増加
- ・未払金の増加で2億13百万円増加
- ・棚卸資産が増加した事により 7億69百万円減少

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー(前期との増減)

- ・有形固定資産の取得による支出で 19億93百万円
- ・定期預金の解約による払戻しで10億円

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
営業収入	11,723		12,995		+10.9	
加盟店からの収入	8,361		9,445		+13.0	加盟店期中平均店舗数 当期613店舗、前期577店舗 36店舗増加 加盟店売上高 当期621億12百万円、前期567億76百万円 9.4%増加 荒利率 当期35.3%、前期35.3% 変わらず
その他の営業収入	3,362		3,550		+5.6	国内メーカーからの仕入高(直買仕入等を除いた)前期比 2.7%増加 業務受託収入2億12百万円増加、 賃貸料収入25百万円減少
売上高	33,333		35,141		+5.4	
直営店売上高	7,082	(100.0)	6,688	(100.0)	△5.6	直営店期中平均店舗数 当期108店舗、前期122店舗 14店舗減少
加盟店向け商品供給売上高	26,251		28,453		+8.4	加盟店売上高前期比9.4%増加
営業総収入	45,057	100.0	48,137	100.0	+6.8	
直営店売上原価	3,599	8.0	3,169	6.6	△11.9	
加盟店向け商品供給売上原価	26,251	58.3	28,453	59.1	+8.4	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	29,850	66.3	31,622	65.7	+5.9	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2013年3月期		2014年3月期			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	
売上総利益	(3,483)	(49.2)	(3,518)	(52.6)	+1.0	仕入割戻しと海外直接貿易取引の増加で仕入コストの減少
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	15,206	33.7	16,514	34.3	+8.6	
販売費及び一般管理費	7,811	17.3	8,136	16.9	+4.2	増減要因 人件費 約1億15百万円増加 流通センター運営費用 約1億8百万円増加 竜王流通センター開設費用 約2億11百万円増加 旅費交通費・減価償却費等 約2億9百万円増加 販売費 約1億27百万円減少 直営店舗期中平均14店舗減 約1億82百万円減少 事務費等 約10百万円減少
営業利益	7,394	16.4	8,378	17.4	+13.3	
営業外収益	1,087	2.4	1,179	2.4	+8.5	
営業外費用	48	0.1	54	0.1	+12.4	
経常利益	8,433	18.7	9,503	19.7	+12.7	
特別損失	55	0.1	40	0.1	△26.4	POSレジ入替による固定資産除却損6百万円 減損損失 営業不振店3店舗、返却2店舗、転貸店1店舗、 遊休店1店舗 合計7店舗で約34百万円
当期純利益	5,044	11.2	5,586	11.6	+10.7	

本資料お取扱に関してのお願い



- 本資料は弊社をご理解いただくために作成したもので、弊社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、弊社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン

銘柄コード: 7564(JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>